

第178回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

一日1時間の読書 ～ 何度も 何度も ～

2023年6月4日午前中は、wifeとKBFに出席した。その後、【『がん哲学外来 あんしんカフェ てんねい』2周年記念講演会 & ライブ】に赴いた（天寧寺本堂 青梅市 主催者：沖悦子夫妻；樋野動物園入所 奥様は『仔牛（こうし）』、ご主人は、『ウミウシ』）。息子様が飯能駅に迎えに来てくださった。感謝である。

【樋野興夫 医学博士。順天堂大学名誉教授、恵泉女学園理事長、新渡戸稲造記念センター長。2008年『がん哲学外来』を開設。癌で不安を抱えた患者と家族を対話を通して支援する個人面談を続けている。& マリンバとパーカッションの女性デュオ。メンバーは吉田千香と白鳥安容のふたり。クラシックの名曲からポップスまでリズムカルかつ華麗な演奏が魅力。マリンバの木の温もりと、打楽器の力強く凛とした音が聴く人の心に響きます。これまで某テーマパークや企業のパーティ、幼稚園・施設などでの演奏を行い好評を得ている。」】とチラシに紹介されていた(添付)。心温まるおもてなしには、大いに感激した。

多数の参加者であった。『東久留米のカフェと読書会』に参加されている3人も聴講されていた。早速、【『樋野先生のご講義、何度も 何度も 伺う事が大切だと、本日、改めて強く思いました。』&『今日も大事な事を聞かせていただいて、大変ありがとうございました。お話しを伺い笑顔になります。「一日1時間の読書」が心にとまりました。】などなどの励ましのコメントが複数届いた。

今回、国立がんセンターに勤務され、現在、青梅市の新町クリニックの健診診療部・健診部長をされている望月友美子先生も参加されていた。筆者は『教会でもがん哲学外来を始めよう』（2019年、日本キリスト教団出版局）を編集したものである。今回、『お寺でもがん哲学外来を始めよう』が、『沖悦子氏、望月友美子先生 編集』で企画されることが決まった。楽しみである。

また、筆者が理事長を務めている2025年の第8回『日本Medical Village学会』& 第8回『日本地域医療連携システム学会』の大会長を引き受けられるようである。充実した有意義な貴重な『青梅の旅』となった。

がん哲学外来 あんしんカフェ てんねい 2周年記念 講演会 & ライブ



令和5年6月4日(日) 開場 13:30 入場無料

会場：天寧寺本堂 青梅市根ヶ布1丁目454 駐車場あり

一般社団法人がん哲学外来名誉理事長

樋野興夫先生記念講演 14:00~



樋野興夫(ひのおきお、1954年島根県生まれ)医学博士。順天堂大学名誉教授、恵泉女学園理事長、新渡戸稲造記念センター長。2008年、「がん哲学外来」を開設。癌で不安を抱えた患者と家族を対話を通して支援する個人面談を続けている。

がん哲学外来ウェブサイト <http://gantetsugaku.org>

マリンバ&パーカッションデュオ

Aqua (アクア) ライブ 15:00~



マリンバとパーカッションの女性デュオ。メンバーは吉田千香と白鳥安容のふたり。クラシックの名曲からポップスまでリズムカルかつ華麗な演奏が魅力。マリンバの木の温もりと、打楽器の力強く凜とした音が聴く人の心に響きます。これまで某テーマパークや企業のパーティ、幼稚園・施設などでの演奏を行い好評を得ている。

ご予約はこちらから(定員50名)

anshincafetennei@gmail.com

0428(22)3566(天寧寺)



※ライブ終了後に樋野先生との個人面談ができます。ご希望の方はご予約下さい。(2、3組)